

公益社団法人 日本建築積算協会  
平成 29 年度「建築積算士」試験案内

「建築積算士」とは、建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

【一次試験】（基本知識に関する問題）

- ① 受験資格：平成 29 年 4 月 2 日現在、満 17 歳以上（2000 年（平成 12 年）4 月 1 日以前に生まれた方）であれば、学生、社会人すべて受験できます。
- ② 受験申込：受験申込：申し込み方法は、当協会ホームページに掲載する申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。その申込を受けて、仮受付書と受験料払込用紙をご住所あてにお送りしますので、受験料を払込んで受験申込が完了となります。  
(余裕を持って手続きをしてください。)
- ③ 申込期間：平成 29 年 6 月 1 日（木）から 8 月 31 日（木）まで ※受験料払込日は、この期間以外は受け付けません。
- ④ 受験手数料：27,000 円（消費税込）
- ⑤ 受験資格審査：受験申込が完了した申込者が記入した申込内容について審査します。
- ⑥ 試験地：札幌/盛岡/仙台/東京/名古屋/金沢/大阪/広島/福岡/鹿児島/沖縄（全国 11 都市 11 会場）
- ⑦ 試験日時：平成 29 年 10 月 22 日（日）/12:50～15:50（3 時間）
- ⑧ 合格発表：平成 29 年 12 月 1 日（金）10 時頃に協会ホームページにて受験番号を公開します。  
合格者には合格通知書兼二次試験受験票をお送りします。

【二次試験】（実務知識に関する問題）

- ① 受験資格：今年度一次試験に合格した方、及び一次試験を免除された方となります。  
※一次試験免除対象者：次のいずれかに該当する方は、一次試験が免除されます。  
( )内は必要な書類<婚姻等で証明書等の氏名変更の場合、戸籍抄本等必要>。
  - a. 当協会が認定する建築コスト管理士、建築積算士補(資格を証明できる書類)
  - b. 建築士法による一級建築士、二級建築士及び木造建築士(免許証等の写し)
  - c. 建設業法による一級及び二級建築施工管理技士(合格証明書等の写し)
  - d. 当協会が実施する積算学校卒業生(卒業した積算学校事務局発行の証明書又は卒業証)
  - e. 一次試験合格者(二次試験受験票(正)又はその写し)
- ② 受験申込：受験申込：申し込み方法は、当協会ホームページに掲載する申込フォームに必要事項を入力し、送信すると共に、その確認画面(受験申込フォーム)をプリントアウトして、協会本部まで郵送してください。なお、一次試験免除の必要な書類の写しを合わせてお送りください。その申込を受けて、仮受付書と受験料払込用紙をご住所あてにお送りしますので、受験料を払込んで受験申込が完了となります。  
(郵送でのやり取りとなりますので余裕を持って手続きをしてください。)
- ③ 申込期間：平成 29 年 10 月 1 日（日）～12 月 5 日（火）まで ※受験料払込日は、この期間以外は受け付けません。
- ④ 受験手数料：27,000 円（消費税込）(今年度一次試験合格者は不要)（建築積算士補は 13,500 円）
- ⑤ 受験資格審査：受験申込が完了した申込者が記入した申込内容及び添付必要書類について審査します。
- ⑥ 試験地：札幌/仙台/東京/名古屋/金沢/大阪/広島/福岡/鹿児島/沖縄（全国 10 都市 10 会場）
- ⑦ 試験日時：平成 30 年 1 月 28 日（日）/10:00～17:00（実技試験 4 時間 30 分、短文記述試験 1 時間）
- ⑧ 合格発表：平成 30 年 3 月 1 日（木）10 時頃に協会ホームページにて受験番号を公開します。
- ⑨ 資格登録手続き：合格発表後に合格者へ合格通知書と共に郵送する登録関連書類に必要な事項を記入して、3 月 16 日（金）までに登録申請して下さい。
- ⑩ 登録手数料：12,960 円（消費税込）

【ネットバンキングで受験料を支払う場合の振込み先】※受験者名でお振込みください。

受験手数料払込先：ゆうちょ銀行 ○一九店（ゼロイチキウ店）

当座/口座番号 0548396 、口座名義/公益社団法人 日本建築積算協会

【建築積算士として求められる知識の具体例】

- ✓ 生産プロセス：建設産業の特徴と変遷及び現状、コストマネジメントの考え方、建築生産プロセスとマネジメント
- ✓ 工事発注スキーム：入札の種類、発注方式、契約方式、数量公開、発注単位（パッケージ）
- ✓ 設計図書構成：設計図書構成と種類、優先順位
- ✓ 工事費構成：直接工事費と共通費の構成、主要建物用途の種目別工事費構成比率
- ✓ 積算業務内容：積算業務の流れ、積算実務（仮設、土工、躯体、仕上、設備、屋外施設、改修）、概算手法の概要、値入業務

- ✓ 数量積算基準：基準及び同解説の理解
- ✓ 標準内訳書式：基準及び同解説の理解
- ✓ 主要な市場価格：市場価格、コスト情報の入手方法
- ✓ データ分析と積算チェック：データ整理、歩掛、分析方法、積算チェック
- ✓ 施工技術概要：建築施工プロセス、標準的な施工法、特殊工法（省力化、工業化、工期短縮等）概要
- ✓ LCC・VE概要：LCC(ライフサイクルコスト)の概要、VE(バリューエンジニアリング)の概要
- ✓ 環境配慮概要：環境配慮とコスト概要

### 【試験方法と出題範囲】

- ◇一次試験◇
  - ・試験時間・・・3時間
  - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブック全章（建築数量積算基準・建築工事内訳書標準書式の主要な部分は、平成27年4月1日以降のガイドブックに記載されています。）
  - ・問題数・・・50問
  - ・問題形式・・・4肢択一
- ◇二次試験◇①短文記述試験（採点において足切り点があります）
  - ・試験時間・・・1時間
  - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックのうち第1章～第4章、第9章～第15章を対象とする。
  - ・問題数・・・2問
  - ・問題形式・・・問題に対する解答を短文（200字以内）で記述。
- ②実技試験（採点において足切り点があります）
  - ・試験時間・・・4時間30分
  - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックのうち第5章～第8章、巻末の基準類（建築数量積算基準・内訳書標準書式の主要な部分は、平成27年4月1日以降のガイドブックに記載されています。）
  - ・問題数・・・躯体(コンクリート、型枠、鉄筋)、鉄骨、仕上、内訳明細作成・工事費算出(以上4分野)
  - ・問題形式・・・図面に基づき、数量を計測・計算する。内訳明細を作成する。

【参考図書】 『建築積算士ガイドブック平成27年12月1日版(税込4,940円)』平成26年7月1日版以前の旧版をお持ちの方は、「建築数量積算基準・同解説」および「建築工事内訳書標準書式・同解説」も必要となります。

※ 図書購入お申し込みは、当協会あるいはAmazon.comへ。

- 【注意事項】
1. 平成23年にガイドブックが刊行され、内容が充実し明快となったことから、試験もそれに基づき内容が見直されました。当協会ホームページに前年度の問題と解説を公開しておりますのでご参考にしてください。また各支部にてガイドブックについての講習会が開講される予定ですので、どうぞご活用ください。
  2. 一次試験・二次試験（実技試験を含む）とも、試験中に書籍を持ち込んで閲覧することはできませんので、ご注意ください。
  3. 二次試験の採点において、問題Ⅰ～Ⅳ、短文記述問題のいずれかの問題の得点がない場合には不合格となります。
  4. 試験会場では、スマートフォン、携帯電話の類は使用禁止です。試験時間中は事前に配布する袋に入れ机の上に置いていただきます。それ以外の当該機器が発見された場合には受験できなくなりますのでご注意ください。
  4. プログラム機能のない関数電卓は1台まで持ち込み可能です。
  5. 色鉛筆およびマーカーペンの使用は許可します。

お気軽にお問い合わせください

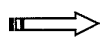
公益社団法人 日本建築積算協会 本部事務局

〒105-0014 東京都港区芝 3-16-12 サンライズ三田ビル 3階

Tel 03-3453-9591 Fax 03-3453-9597 e-mail [hp@bsij.or.jp](mailto:hp@bsij.or.jp)

★★★資格の詳細（定義、各規程類、その他）については、協会ホームページをご参照ください★★★

積算協会



検索

<http://www.bsij.or.jp/>

## 平成29年度「建築コスト管理士」試験案内

「建築コスト管理士」とは、企画・構想から維持・保全、解体にいたる建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

英国王立チャータード・サベイヤーズ協会（R I C S）会員にダイレクトエントリーし、国際的に活躍している「Chartered Quantity Surveyor (QS)」称号取得が可能な資格です。

なお、建築コスト管理士資格登録には、当協会個人正会員であることが条件となります。

- ① 受験資格：試験は、次のいずれか一方に該当する方であれば、受験することができます。
  - (1) 建築積算士の称号を取得後、更新登録を1回以上行い、かつ建築関連業務を10年以上経験しそのうち建築コスト関連業務において責任ある業務に2年以上の実務経験を有する方
  - (2) 建築関連業務を10年以上経験し、そのうち建築コスト関連業務において責任ある業務を5年以上の実務経験を有する方

※建築関連業務には、建築士法で定められた、大学院修了課程の期間を算入することができます。詳しくは、当協会ホームページ記載の「建築コスト管理士認定規程第14条」をご確認ください。
- ② 受験申込：申し込み方法は、当協会ホームページに掲載する申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。なお、学科試験免除希望の場合は、申込フォームにその旨を入力してください。その申込を受けて、仮受付書と受験料払込用紙をご住所あてにお送りしますので、受験料を払い込んで受験申し込みが完了となります。(余裕を持って手続きしてください。)
- ③ 申込期間：平成29年6月1日(木)から9月7日(木)まで ※受験料払込日は、この期間以外は受けません。
- ④ 受験手数料：29,160円(消費税込)  
※過去2カ年度学科試験に合格され短文試験のみの受験手数料は16,200円(消費税込)となります。
- ⑤ 受験資格審査：受験申込が完了した受験申込者が申込フォームに記入した「建築関連業務」「コスト関連業務」「責任ある業務」についての実務経験に基づき審査します。
- ⑥ 試験地：札幌/盛岡/仙台/東京/名古屋/金沢/大阪/広島/福岡/鹿児島/沖縄(全国11都市11会場)
- ⑦ 試験日時：平成29年10月22日(日)

学科試験	12:50~15:20(2時間30分)
短文記述試験	15:40~17:40(2時間)
- ⑧ 合格者発表：平成29年12月15日(金)10時頃に協会ホームページにて受験番号を公開します。
- ⑨ 資格登録手続：合格発表後に合格者へ合格通知書と共に郵送する登録関連書類に必要事項を記入して翌年1月15日までに登録申請して下さい。なお、この際に当協会個人正会員でない方については、同時に入会申込みが必要となります。  
(入会金2,000円、年会費9,000円を月割り)
- ⑩ 登録手数料：15,120円(消費税込)

【ネットバンキングで受験料を支払う場合の振込み先】※受験者名でお振込みください。

受験手数料払込先：ゆうちょ銀行 〇一九店(ゼロイチキューウ店)

当座/口座番号0500957、口座名義/公益社団法人 日本建築積算協会

## 【建築コスト管理士として求められる知識の具体例】

- ☆ 原則として建築積算士に求められる知識を包含する ☆
- ✓ コスト情報収集・分析：商取引の基礎知識、コスト情報の入手方法、コスト情報の分析手法、コストに影響を与える諸要因
- ✓ 広範囲な市場価格：経済の現況、建設産業の現況と需給バランス、建物市場価格（マクロ）、建築構成材市場価格（ミクロ）、メーカー・専門工事会社見積価格と取引価格、不動産市況と取引実態
- ✓ 発注戦略：工事発注と条件の策定、契約文書と付帯条件、コストオン協定書と共益費、競争環境の醸成、入札手続きと評価
- ✓ 調達戦略：元請・下請階層関係、下請業種（メーカー・専門工事会社）、発注パッケージ
- ✓ フィジビリティースタディー：事業収支計画の概要、事業収支に影響を与える要因、建設工事費キャッシュフローと金利
- ✓ 概算技法：状況に応じた概算技法、コストデータの活用法、コストアロケーションとコストコントロール技法
- ✓ 施工技術・工期算定：特殊構工法、新技術、改修工事の特徴、解体工法、工期算定方法の概要、共通費（共通仮設、現場管理費、一般管理費）算定方法の概要
- ✓ LCC・VE及びFM・PM・CM・PFIの概要：LCC（ライフサイクルコスト）の内容と算定方法、VE（バリューエンジニアリング）の内容と技法、FM（ファシリティーマネジメント）の概要、PM（プロジェクトマネジメント）の概要、CM（コンストラクションマネジメント）の概要、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の概要
- ✓ 環境配慮：社会的側面と法的側面、環境対応技術のトレンド、環境配慮とコスト
- ✓ 建築関連法規：建築基準法関連の基礎、コストに影響を及ぼす法規の概要
- ✓ IT活用：情報技術のトレンド、IT機器操作・ソフト活用

## 【試験方法と出題範囲】

- ◇学科試験◇
  - ・試験時間・・・2時間30分
  - ・出題範囲・・・建築コスト管理士ガイドブック第1章～第4章（第5章建築コスト管理の事例を除く）、建築積算士ガイドブックのうち第6章～第8章、第10章を対象とする。
  - ・問題数・・・60問
  - ・問題形式・・・4肢択一
- ◇短文記述試験◇
  - ・試験時間・・・2時間
  - ・出題範囲・・・建築コスト管理士ガイドブック第1章～第4章（第5章建築コスト管理の事例を除く）、建築積算士ガイドブックのうち第6章～第8章、第10章を対象とする。
  - ・問題数・・・5問
  - ・問題形式・・・問題に対する解答を短文（200字以内）で記述。

## 【学科試験免除要件】

学科試験の合格基準点をこえた超えた者は、次年度以降2年間学科試験を免除する。

## 【参考図書】『建築コスト管理士ガイドブック(税込5,040円)』『建築積算士ガイドブック(税込4,940円)』

- ※ 図書購入お申し込みは、協会、Amazon.comへ。
- ※ 両ガイドブックを同時購入の場合、割引あり。

- 【注意事項】1. 平成23年に両ガイドブックが刊行され、より一層内容が充実し、明快となったことから、試験もそれに基づき内容が見直されました。当協会ホームページに前年度の問題と解説を公開しておりますのでご参考にしてください。また各支部にて両ガイドブックについての講習会が開講される予定です。どうぞご活用ください。
- 2. 試験会場では、スマートフォン、携帯電話の類は使用禁止ですので、試験時間中は事前に配布する袋に入れ机の上に置いていただきます。それ以外の当該機器が発見された場合には受験できなくなりますのでご注意ください。
- 3. 色鉛筆およびマーカーペンの使用は許可します。  
※試験採点の際には、足きりがありますので、学科試験および短文記述試験それぞれの解答には、ご留意ください。

お気軽にお問い合わせください

公益社団法人 日本建築積算協会 本部事務局

〒105-0014 東京都港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル3階

Tel 03-3453-9591 Fax 03-3453-9597 e-mail [hp@bsij.or.jp](mailto:hp@bsij.or.jp)

★★★資格の詳細（定義、各規程類、その他）については、協会ホームページをご参照ください★★★

積算協会

検索

<http://www.bsij.or.jp/>